

事務事業名		伊那谷文化史資料展示公開事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	1	終了		
H27担当課等名		美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名		学芸係						
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			施策	29	ふるさと意識の醸成						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動			対象指標	指標名及び単位			26年度数値						
	意図(どういう状態にするか)	1 特別展の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する 2 調査研究活動の内容を地域に還元する				圏域住民数(人)			164580						
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)			7000	9013	7000	7000							
	成果指標	企画展示(特別展・企画展・特別陳列)の開催数			3	4	3	3							
定性目標															
事業概要	1 本事業は、平成23年度まで「特別展示事業」「常設展示事業」とされていたもののうち、人文分野(考古部門含む)に関するものを分離・統合したものである。														
	2 伊那谷の歴史・文化・民俗に関わる特別展・企画展・特別陳列など企画展示と、人文常設展示、およびロビー展示とからなる。														
	3 主に「伊那谷文化史資料調査研究保管事業」の調査・研究活動の成果に基づきながら、展示あるいはそれに伴う図録や講演会・講座などによって公開する。														
事業内容					名称					活動指標					
26年度事業内容	1 企画展示 (1) 企画展「南信州の煙火」 会期:7/19~10/13 (2) 企画展「伊那郡衙-恒川遺跡群-」 会期:10/4~12/23 (3) 特別陳列「丘の上の魅力再発見」 会期:4/1~5/6 (4) 特別パネル展「飯田長姫高校選抜高校野球大会全国優勝60年」 会期:3/29~5/6					1 企画展示の開催数 2 図録・リーフレットの刊行件数 3 人文常設展示の更新箇所数					1 4本 2 2種 3 3箇所				
	2 図録・リーフレットの発刊														
	3 人文常設展示														
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		9,882	8,023	7,940	10,025	[25特定財源] (国)社会資本整備総合交付金(充当率45%) (国)重要文化財公開促進事業交付金(上限50万円)									
国庫支出金		2,761	1,530	1,444	3,250	[26特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)									
県支出金		271				[27特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)									
起債															
その他															
一般財源		6,850	6,493	6,496	6,775										
人件費計(千円)②		7,152		0											
正規職員所要時間		2,000													
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		17,034	8,023	7,940	10,025										
事業内容・目標達成状況の振り返り	一般に関心の高い煙火をテーマに取り上げたが、思うほどに観覧者が伸びなかった。祭りの楽しみが直ちに展覧会の観覧に結びつかないことを示しており、展覧会に招く工夫が足りなかった。恒川官衙遺跡が国史跡になった時機を捉えて展覧会を企画したが、一般には少し難解な展示となってしまった。														
改革改善の考え方	①問題点	広く市民の関心を喚起する企画や広報活動が弱い。													
	②改革提案	市民の関心を喚起する展示内容を工夫する。新聞に投稿したり、HPにアップするなどして広報に一層努める。													